

WILD & TOUGH

トラックをよりワイルドかつタフにトランスフォーム!

質実剛健スタイル。

ピックアップ文化栄えるアメリカで、瞬く間に広がったスプレーオン・ベッドライナー。ペイント感覚の気軽さがウケているのかと思いきや、やはりピックアップのタフさに負けない高い耐久性が求められているのだった。しかし、缶スプレーでDIYできるものから本格的に施工されるものまで、本当に効果は同じなのだろうか?

TEXT by KAORU HOMMA
PHOTO by YASUHIRO YAMADA

もともとピックアップのベッドライナーはプラスチック製で、積載する荷物やベッド自体を傷などから守って、またこのプラスチック製のベッドライナーは、今ではドロップイン・ベッドライナーと呼ばれるが、それはこの「スプレーオン・ベッドライナー」が登場してからのこと。ドロップインに対してスプレーオンの利点は、その名の通り塗料のようにベッドに直接吹き付けることで、ドロップインのようにベッドとの間

に隙間ができないため雨水が溜まって錆びるといったことがなく、なおかつ部分補修も可能であったりする点が挙げられる。その利便性から、現在では多くのピックアップ・メーカーが純正オプションとしてスプレーオン・ベッドライナーを用意している。

ただし、すべてのスプレーオン・ベッドライナーが同じわけではない。ここに登場するLINE-Xは、中でも群を抜いた高い耐久性を誇っている。いや、高い耐久性どころか、構造物を強化するポリマー剤として米政府に認められ、国防総省のペンタゴンにも施工されているほどだ。なにしろ、LINE-Xはコーティング剤メーカー27社が受けた米空軍の破砕軽減テストで唯一合格を果たしている製品。

アメリカ軍・政府が唯一認めた驚異の塗料

こうなってくると、ベッドライナーとしてだけでなく、使用用途はアイデア次第で大きく膨らんでいく。バンパーやフェンダーなどに加え、オイルパンやフューエルタンク、さらにはサウンド・デッドナーとしても使用可能で、凍結防止剤など耐薬品性も高い。さて、どこに使おう?



LINE-Xが施工されたベッド。LINE-Xは独自の高純度ポリウレタン樹脂であり、耐衝撃性・耐腐蝕性・防錆性・防音性・耐摩耗性に優れ、およそほとんどの素材に施工することができる。また表面はテクスチャー仕上げを行うため滑り止め効果もあり、仕上がりはマットな質感でカラーも調合可能なのでファッション性も高い。



フロントガードにLINE-Xを施工すれば防錆・防傷効果はもちろん、マットペイントが美しいアクセントとなる。見た目とタフさを同時に向上、というわけだ。

サイドステップとスポーツバーへの施工例。どこに足を掛けても滑り止め効果が期待できるし、サビも避け、迫力のワンポイントとなること請け合い。



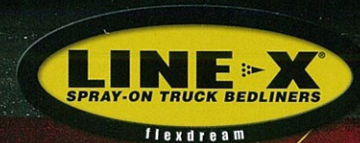
LINE-X認定ディーラーであるフレックス・ドリームには「スプレー缶はないの?」と問い合わせが入るらしいが、ない理由がこちら。専用のマシンと高度な技術を学んだ認証を受けた技術者でないと施工が出来ないからだ。

ただでさえ迫力のリベッテッド・オーバーフェンダーがこの迫力に、本格的なオフロードにも安心して踏み込める。石跳ね小枝ドンと来い仕様に早変わり。

LINE-Xが施されたUSTヨタ車は「アップルさいたま岩槻店」(www.flexdream.jp/us-toyota/apple/saitama-iwatsuki/)にて販売中なので、興味のある方は要チェックだ。

メーカー純正オプションにも採用

もちろんLINE-Xの實力を認めているのは米政府だけではなく、現在ではUSTヨタやLIXTヨタ、ランドローバーなどが純正採用中。さらに建築分野でも大きな広がりを見せている。



TOYOTA TUNDRA CREW MAX

flexdream LINE-X事業部
ADDRESS: 埼玉県さいたま市岩槻区表慈恵寺978-1
TEL: 048-793-0077 [9:30-18:30] www.flexdream.jp/LINE-X/
LINE-X Auto Japan公式Webサイト www.line-x-auto.co.jp